

2013年度第2四半期業績の概況



『eKスペース』
(2014年初頭発売予定)



『eKスペース カスタム』
(2014年初頭発売予定)

三菱自動車工業株式会社

2013年10月29日

前年同期比台数増、増収・増益

(単位: 億円, 千台)

	FY12 2Q ('12/4-9) 実績①	FY13 2Q ('13/4-9) 実績②	差 ② - ①	FY13 2Q ('13/4-9) 4/25公表値
売上高	8,600	9,290	+ 690	10,000
営業利益	308	508	+ 200	360
経常利益	316	610	+ 294	340
当期利益	301	467	+ 166	190
販売台数 (小売)	478	499	+ 21	544
販売台数 (卸売)	535	568	+ 33	597
うち OEM台数・共同開発車等	(45)	(87)	(+ 42)	(85)

※注) 13年度第2四半期販売台数実績は速報値。

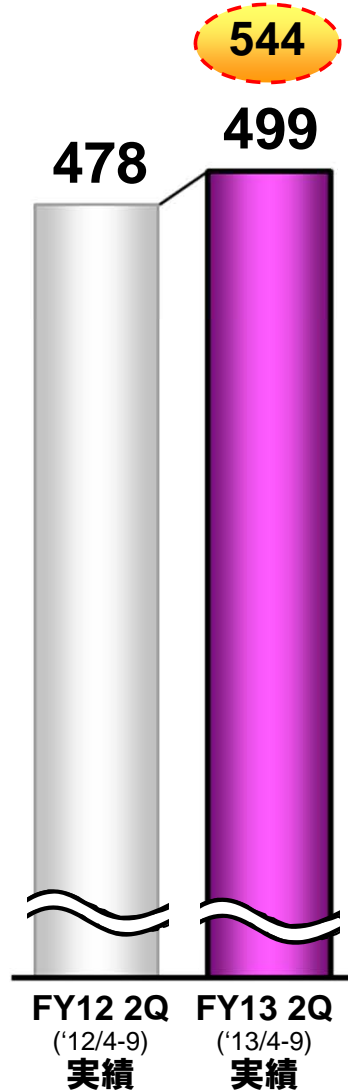
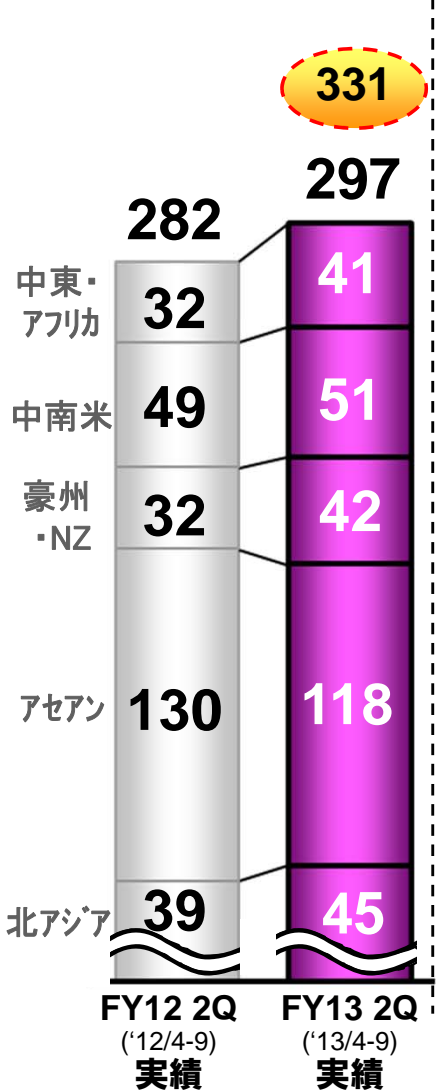
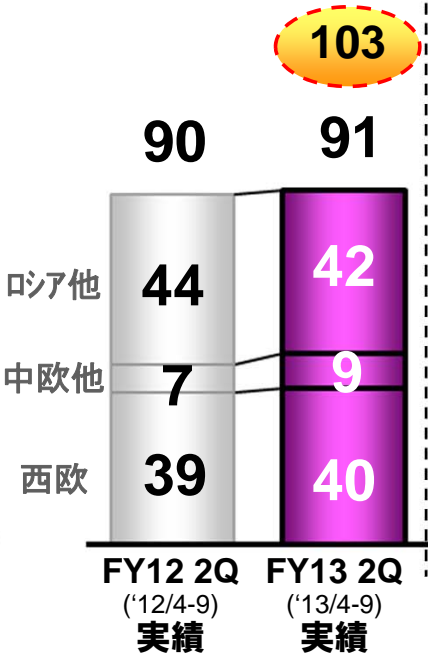
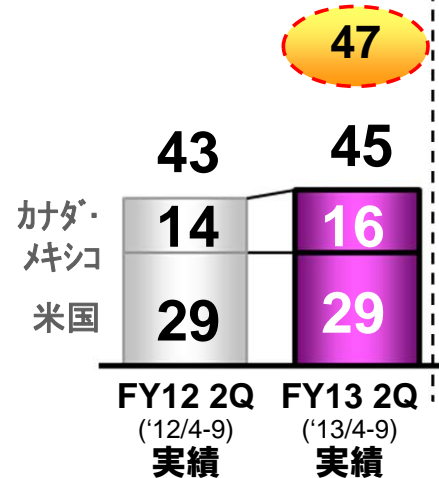
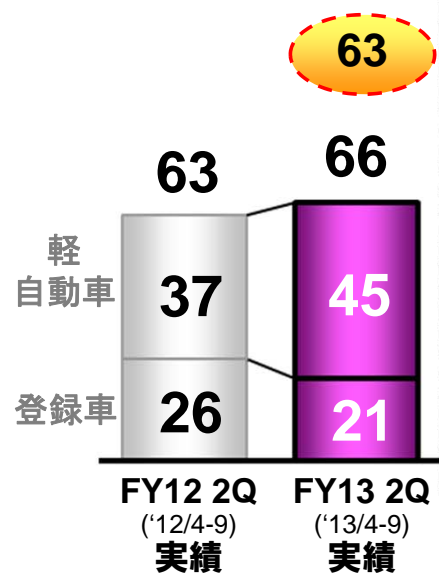
地域別販売台数実績【地域別6ヵ月累計、前年同期対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
----	----	----	-----------	----

《前年同期対比増減》				
+3 (+5%)	+2 (+3%)	+1 (+1%)	+15 (+6%)	+21 (+4%)

(単位:千台、小売)

第2四半期
累計計画



※注) 13年度第2四半期販売台数実績は速報値。

営業利益増減分析【前年同期対比】

(単位：億円)

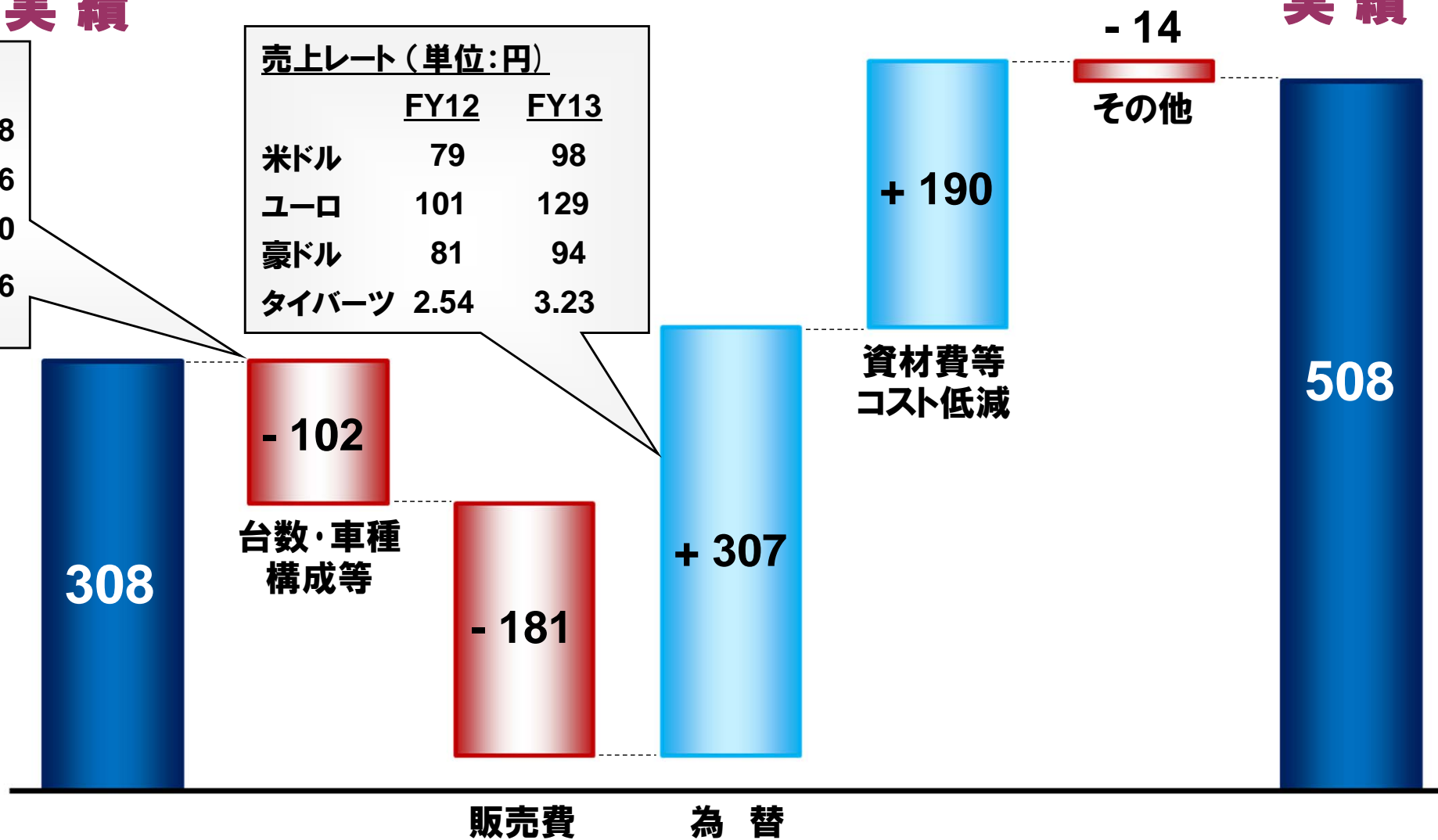
FY12 2Q
(‘12/4-9)
実績

+ 200億円

FY13 2Q
(‘13/4-9)
実績

地域別	
日本:	+ 78
北米:	+ 6
欧州:	- 50
アジア・その他:	- 136

売上レート (単位:円)		
	FY12	FY13
米ドル	79	98
ユーロ	101	129
豪ドル	81	94
タイバーツ	2.54	3.23



經常利益・当期利益【前年同期対比】

(単位：億円)

	FY12 2Q (‘12/4-9) 実績①	FY13 2Q (‘13/4-9) 実績②	差 ② - ①
営業利益	308	508	+ 200
営業外損益	+ 8	+ 102	+ 94
經常利益	316	610	+ 294
特別損益 及び法人税等	- 15	- 143	- 128
当期利益	301	467	+ 166

貸借対照表【前年度末対比】

(単位：億円)

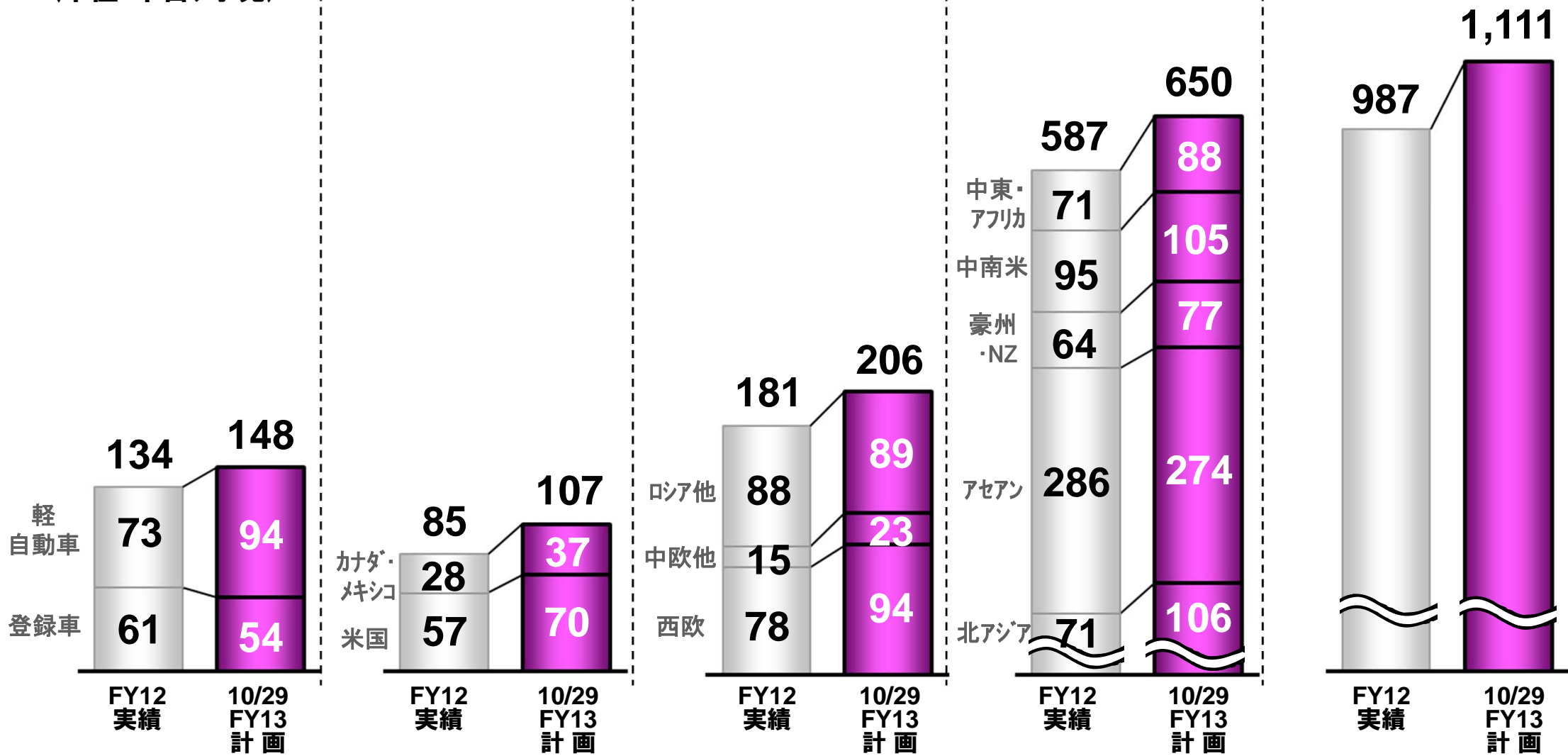
	FY12末 (' 13/ 3月末)	FY13 2Q末 (' 13/9月末)	増 減
資 産 合 計	14,528	13,981	- 547
うち 現金預金	4,095	3,297	- 798
売上債権	1,496	1,379	- 117
たな卸資産	2,023	2,408	+ 385
負 債 合 計	11,016	10,021	- 995
うち 仕入債務	3,138	3,056	- 82
有利子負債	3,644	2,816	- 828
純資産合計	3,512	3,960	+ 448

2013年度通期業績見通し 地域別販売台数計画【前年度対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
----	----	----	-----------	----

《前年度実績対比増減》				
+ 14 (+ 11%)	+ 22 (+ 26%)	+ 25 (+ 14%)	+ 63 (+ 10%)	+ 124 (+ 13%)

(単位:千台、小売)



台数増加や資材費等コスト低減の積み上げにより増収・増益を目指す

(単位: 億円, 千台)

	FY12 実績	FY13 10/29公表値	【参考】 FY13 4/25公表値	
売上高	18,151	21,300	22,700	
営業利益	674	1,000	1,000	
経常利益	939	1,000	900	
当期利益	380	700	500	
販売台数 (小売)	987	1,111	1,169	
販売台数 (卸売)	1,120	1,306	1,363	
うち OEM台数等	(79)	(209)	(207)	
為替前提レート		上期	下期	通期
米ドル	82	98	95	97
(円/1通貨単位)				
ユーロ	105	129	125	126
豪ドル	85	94	85	90
タイバーツ	2.70	3.23	3.20	3.21

増減内訳 (前年度対比: +326億円)	
・台数・車種構成等	+70
・販売費用	-290
・為替	+400
・資材費等コスト低減	+280
・開発費他	-134

■ 2013年度第2四半期累計実績

前年同期比台数増、増収・増益

- 販売台数(小売)：前年同期比 4%増加の499千台
- 販売台数(卸売)：前年同期比 6%増加の568千台
- 売上高：前年同期比 8%増収の 9,290億円
- 営業利益：前年同期比 65%増益の 508億円
(台数・車種構成等、販売費が悪化したが、為替や資材費等コスト低減の好転などにより増益)
- 経常利益：前年同期比 93%増益の 610億円
- 当期利益：前年同期比 55%増益の 467億円

■ 2013年度通期見通し

台数増加や資材費等コスト低減の積み上げにより増収・増益を目指す

- 販売台数(小売)：前年比 13%増加の1,111千台
- 販売台数(卸売)：前年比 17%増加の1,306千台
- 売上高：前年比 17%増収の 2兆1,300億円
- 営業利益：前年比 48%増益の 1,000億円
- 経常利益：前年比 6%増益の 1,000億円
- 当期利益：前年比 84%増益の 700億円

添付資料



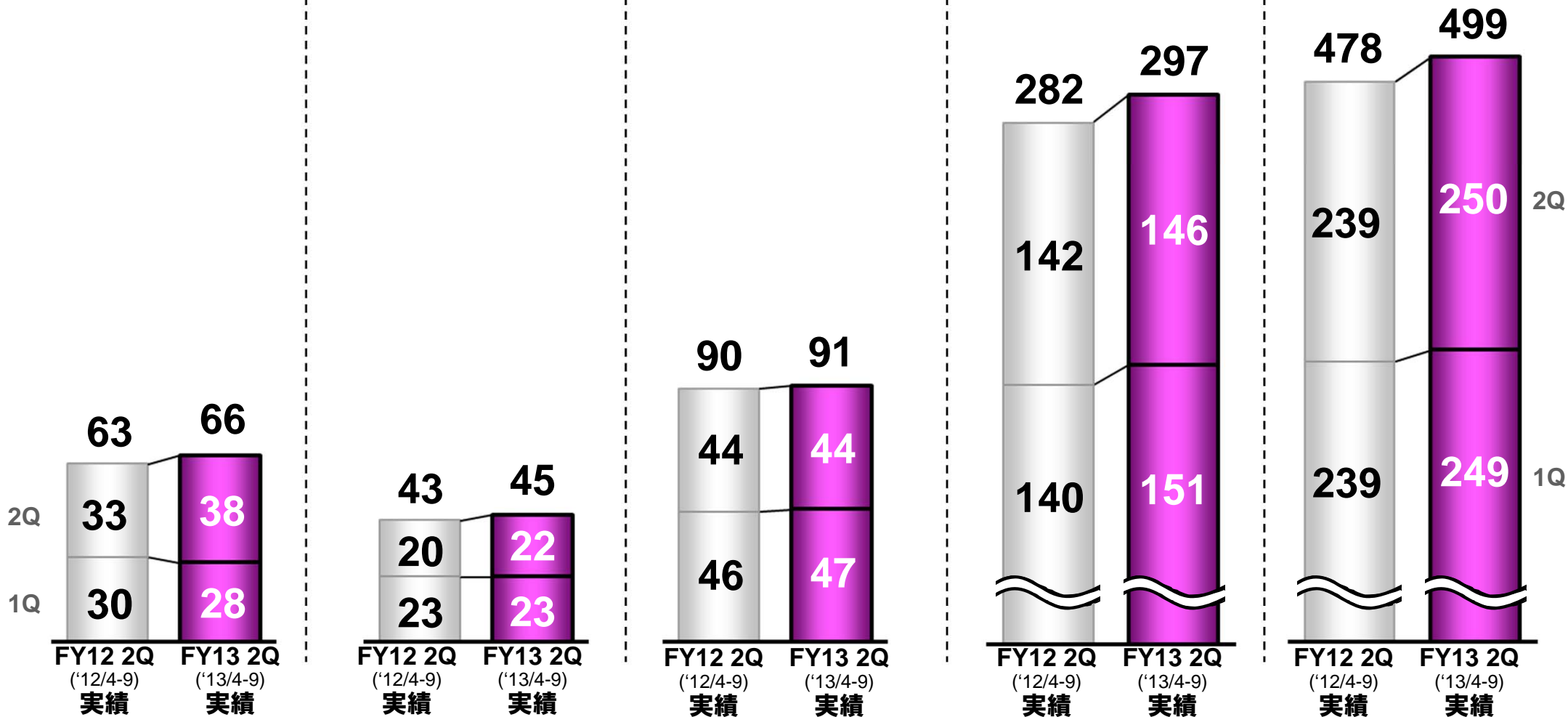
『アウトランダーPHEV』

地域別販売台数実績【四半期別6ヵ月累計、前年同期対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
----	----	----	-----------	----

《前年同期対比増減》				
+3 (+5%)	+2 (+3%)	+1 (+1%)	+15 (+6%)	+21 (+4%)

(単位:千台、小売)



※注) 13年度第2四半期販売台数実績は速報値。

2013年度第2四半期累計期間 地域別業績【前年同期対比】

(単位：億円)

	FY12 2Q (‘12/4-9) 実績①	FY13 2Q (‘13/4-9) 実績②	増減 ②－①
売上高	8,600	9,290	+ 690
- 日本	1,549	2,026	+ 477
- 北米	798	1,080	+ 282
- 欧州	2,109	1,950	- 159
- アジア・ その他地域	4,144	4,234	+ 90
営業利益	308	508	+ 200
- 日本	- 84	- 13	+ 71
- 北米	- 131	- 32	+ 99
- 欧州	- 89	98	+ 187
- アジア・ その他地域	612	455	- 157

2013年度第2四半期累計期間 四半期別業績サマリー

(単位: 億円、千台)

	FY13 1Q ('13/4-6)	FY13 2Q ('13/7-9)	FY13 1H ('13/4-9)
売上高	4,094	5,196	9,290
営業利益	160	348	508
経常利益	223	387	610
当期利益	164	303	467
販売台数 (小売)	249	250	499
販売台数 (卸売)	250	318	568
うち OEM台数・共同開発車等	(31)	(56)	(87)

※注) 13年度第2四半期販売台数実績は速報値。

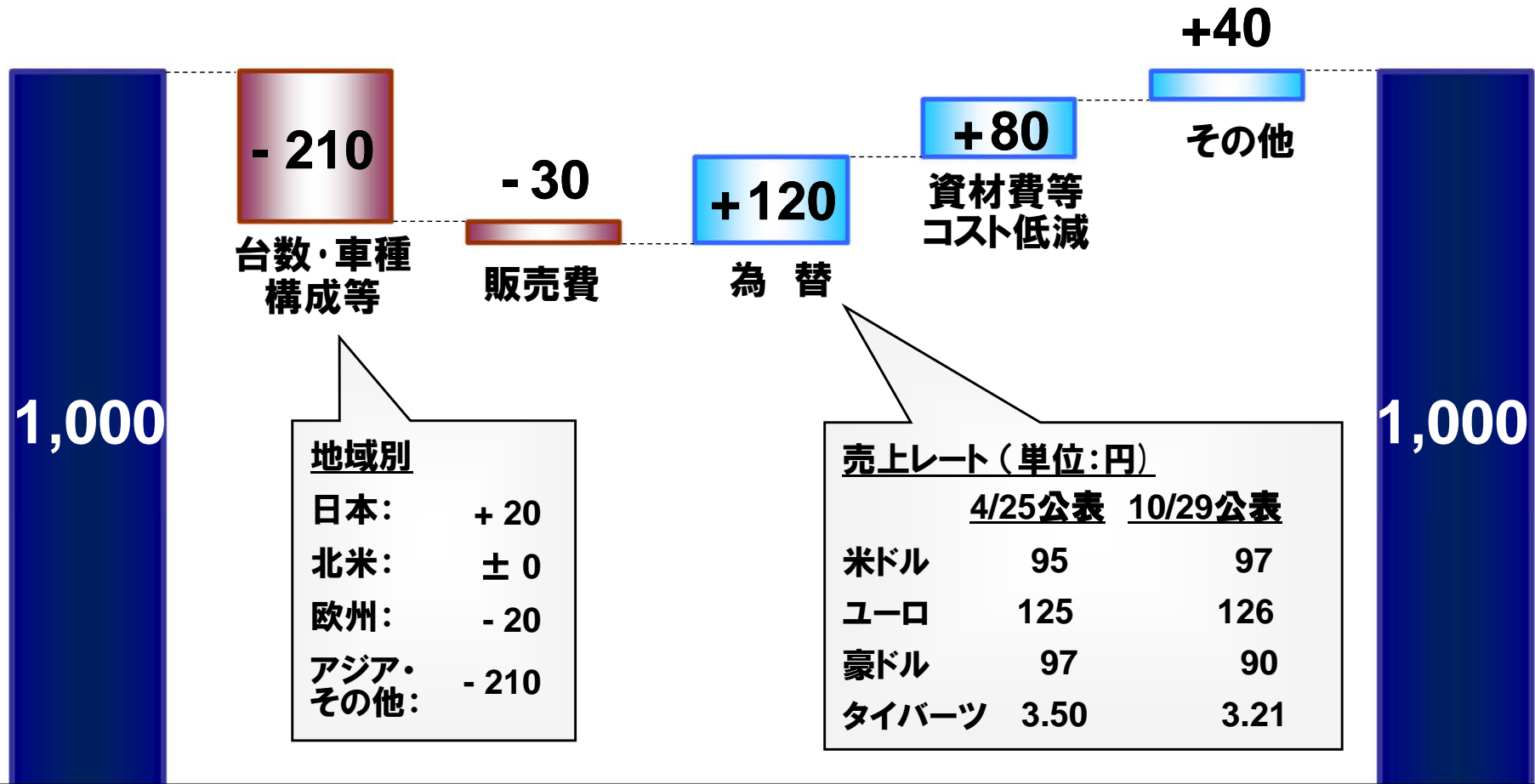
2013年度営業利益見通し増減分析【4/25公表値対比】

(単位：億円)

FY13
(4/25公表)
計画



FY13
(10/29公表)
計画



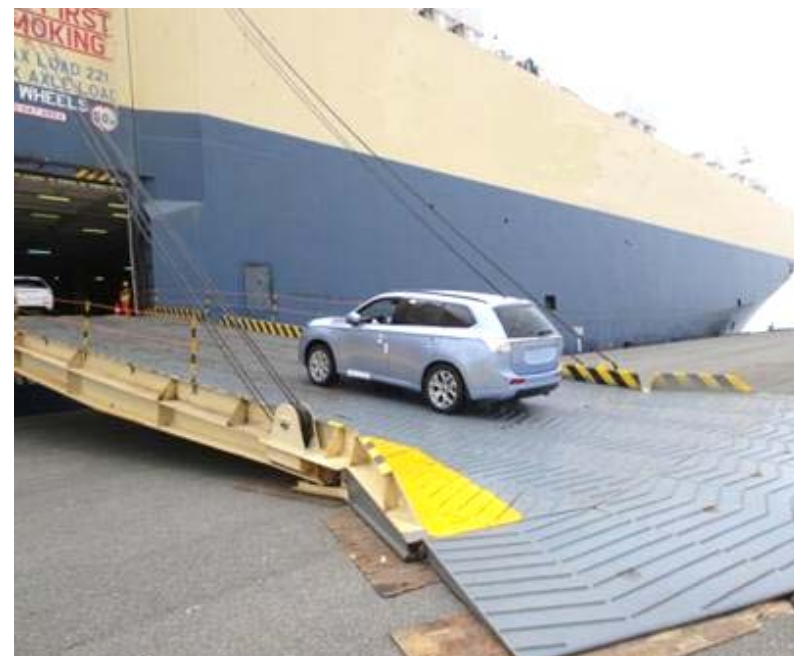
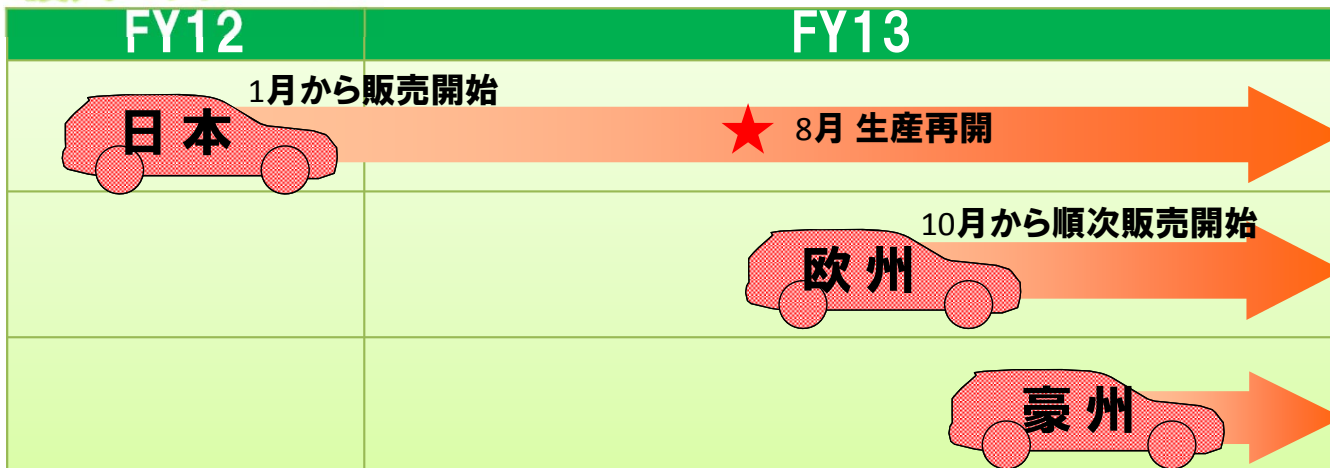
2013年度地域別業績見通し【前年度比・4/25公表値比】

(単位：億円)

	FY12 実績	FY13 4/25公表値	FY13 10/29公表値
売上高	18,151	22,700	21,300
- 日本	3,295	4,700	4,700
- 北米	1,577	2,100	2,400
- 欧州	4,007	5,100	4,700
- アジア・ その他地域	9,272	10,800	9,500
営業利益	674	1,000	1,000
- 日本	- 276	- 150	- 40
- 北米	- 200	- 40	- 40
- 欧州	- 70	200	240
- アジア・ その他地域	1,220	990	840

品質を確保し、8月中旬に生産を再開

投入スケジュール



欧州向け船積み(蒲郡港)

アジアクロスカントリーラリー2013を完走

パワートレインやドライブトレインに過度の負荷がかかるクロスカントリーラリーにおいて、プラグインハイブリッドEVシステムはトラブルフリーで信頼性を実証



アジアクロスカントリーラリー2013

自動車メーカー4社(トヨタ、日産、ホンダ、三菱)が 電動車両の充電インフラの共同推進に合意(7月)

充電器の設置促進活動の共同推進やユーザーにとって利便性の高い充電ネットワークサービスの構築を行う



電気自動車『i-MiEV』70台 ロシア大統領府に納車(9月)

G20サミット(金融・世界経済に関する首脳会合)のオフィシャルカーとして採用



フランス・リヨン再開発地域における スマートコミュニティ実証事業に参加(10月)

再開発に伴い発生する都市問題(交通渋滞、駐車スペース不足、排気ガス等)への対応や再生可能エネルギーのマネジメントシステムの導入・実証を行う



タイで『アトラージュ』の
生産を開始(6月)



ロシアで『パジェロスポーツ』の
現地生産を開始(7月)



ブラジルで『ASX』の
現地生産を開始(7月)



中国で『パジェロスポーツ』の
現地生産を開始(9月)



本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご留意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

Drive@earth



mitsubishi MOTORS